

2020年度公開質問 食用油 2021年1月実施

質問①製品原材料の種類と原産国、遺伝子組み換えの状況について

●ポーソー油脂株式会社

商品名	原材料名	原産国	遺伝子組み換え	使用開始時期
キャノーラ油	なたね油	主にカナダ	分別・ 不分別	1997年
一番しぼり菜種油	なたね油	主にオーストラリア	分別 ・不分別	1999年
(業務用)C&Cブレンドサラダ油	なたね油	主にカナダ	分別・ 不分別	1997年
	とうもろこし油	主にアメリカ	分別・ 不分別	1997年

●日清オイリオグループ株式会社

商品名	原材料名	原産国	遺伝子組み換え	使用開始時期
日清キャノーラ油	なたね油	主にカナダ、オーストラリア	分別・ 不分別	1997年
日清サラダ油	大豆油	主にアメリカ、ブラジル	分別・ 不分別	1997年
	なたね油	主にカナダ、オーストラリア	分別・ 不分別	1997年
日清綿実油	綿実油	主にアメリカ、オーストラリア	分別・ 不分別	1997年

●株式会社J-オイルミルズ

商品名	原材料名	原産国	遺伝子組み換え	使用開始時期
さらさらキャノーラ油	なたね油	主にカナダ、オーストラリア	分別・ 不分別	J-オイルミルズ 発足当時より 使用(2004年)
さらさらキャノーラ油健康プラス	なたね油	主にカナダ、オーストラリア	分別・ 不分別	
	ビタミンE	主にアメリカ、ブラジル	分別・ 不分別	
大豆油たっぷりサラダ油	大豆油	主にアメリカ、ブラジル	分別・ 不分別	
	なたね油	主にカナダ、オーストラリア	分別・ 不分別	

●昭和産業株式会社

商品名	原材料名	原産国	遺伝子組み換え	使用開始時期
キャノーラ油	なたね油	カナダ、オーストラリア他	分別・ 不分別	1997年
サラダ油ハンディ	なたね油	カナダ、オーストラリア他	分別・ 不分別	1997年
	大豆油	アメリカ、南米他	分別・ 不分別	1997年
ヘルシープレミアムキャノーラ油	なたね油	カナダ、オーストラリア他	分別・ 不分別	1997年
	ビタミンE		分別・不分別	

●理研農産加工株式会社

商品名	原材料名	原産国	遺伝子組み換え	使用開始時期
一番搾りキャノーラ油	なたね油	カナダ・豪州	分別・ 不分別	1997年
サラダ油	なたね油	カナダ・豪州	分別・ 不分別	1997年
	大豆油	アメリカ・ブラジル	分別・ 不分別	1997年
コーンサラダ油	とうもろこし		分別・不分別	
大豆サラダ油	大豆油	アメリカ・ブラジル	分別・ 不分別	1997年
キャノーラバランスE	なたね油		分別・不分別	
	ビタミンE		分別・不分別	

質問② 産地農場から輸出港、輸入港、貴社製造工場までの原材料の管理・輸送方法について

質問③ 遺伝子組み換えの原材料を使用している製品に関して、今後、遺伝子組み換えでないものに変更する予定の有無と、その理由について

質問④ 現在、食用油については遺伝子組み換えに関する表示義務はありません。今後、検出精度の向上によりDNAの検出が可能になった場合、商品本体に表示を行う予定はありますか。

質問⑤ 消費者のなかには、遺伝子組み換えでない原材料を求める声もあります。今後、遺伝子組み換えでない原材料の製品を供給するためには、どのような課題があるとお考えですか。

質問⑥ ゲノム編集由来の原材料が入手できるようになった場合、使用しますか。

質問⑦ ゲノム編集由来の原材料を使用する場合、表示をされますか。

2020年度公開質問 食用油

	ポーソー油脂株式会社	日清オイリオグループ株式会社	株式会社J-オイルミルズ	昭和産業株式会社	理研農産加工株式会社
質問② 産地農場から製造工場までの管理・輸送方法	2017年6月で菜種の自社調達と搾油を取り止めております。	農家から集められた原材料は、各地域の集積所を経由し港湾サイロに運び、そこから大型のバルク(ばら積み)貨物船で輸送します。なお原材料によっては、栽培地域で製造された原料油を貨物船で輸送することがあります。	原産国の輸出から船で日本に入り、弊社工場サイロもしくは委託サイロに入荷します。	農家で生産された原材料は、地域の集積所、港湾サイロを経由し、貨物にバラ積み輸送され、当社の製造工場に隣接したサイロに入庫します。	生産者は集荷施設に持ち込み、貨車・はしけ・トラック等で港の積出施設へ運ばれ、船舶で輸送となります。
質問③ 非遺伝子組み換え原料への切り替えについて	変更の予定はありません。安定供給の責任があり、変更することは難しい状況です。	遺伝子組み換えの原材料を使用している製品はございません。また、遺伝子組み換え不分別の原材料を使用している製品に関して、遺伝子組み換え不分別でないものに変更する予定はありません。原材料の安定調達、製品の安定供給の観点から、当該原材料を変更することは現実的に困難であると考えております。	弊社は遺伝子組み換え不分別の原材料を使用しておりますが、現在のところ変更の予定はありません。使用している遺伝子組み換え不分別の原材料は、政府により安全性が確認されており、お客様への製品の安定供給を考えると、非遺伝子組み換え農産物では油脂原料として安定した数量の確保が困難なため。	製品の安定供給のための原材料の安定供給が困難であると考えており、非遺伝子組み換えの原材料に変更する予定はありません。	変更する予定はございません。原材料の安定調達、製品の安定供給の観点から、当該原材料を変更することは現実的に困難であると考えております。
質問④ 遺伝子組み換え表示について	現行同様、関連法令に基づいて適正に対応します。	関連法令に基づいて適正に対応します。	関連法令に基づいて適正な表示を行います。	その時の関連法令に基づいて適正に対応します。	関連法令に基づいて適正に対応させて頂きたいと考えております。
質問⑤ 非遺伝子組み換え原料への切り替えへの課題について	原料調達に限界があり、全てを遺伝子組み換えでない原料にすることは難しいと考えます。	原材料の安定調達、製品の安定供給が困難になると考えます。	お客様への製品の安定供給を考えると、油脂原料として非遺伝子組み換え農産物の安定した数量を確保することが必要と考えます。	製品の安定供給のための原材料の安定調達が困難な点だと考えます。	原材料の安定調達、製品の安定供給が困難だと考えております。
質問⑥ ゲノム編集原材料の使用について	現時点で取り扱い予定はありませんが、方針は決めていません。	引き続き、安全性を含め国内外における開発・届け出状況を注視して参ります。	安全性を考慮し慎重に対応すべきと考えており、現時点では方針を決定しておりません。	現時点で取り扱い予定はありませんが、方針は決めておりません。引き続き安全性に関する情報や開発動向を注視して参ります。	現時点では未定です。
質問⑦ ゲノム編集原材料使用の場合の表示について	関連法令に基づいて適正に対応します。	関連法令に基づいて適正に対応します。	関連法令・条例等に従って、対応します。	関連法令に基づいて適正に対応します。	無回答

●NON-GM原材料のみを使用していると公表しているメーカー

	平田産業有限会社	米澤製油株式会社
質問① 原材料の原産国、非遺伝子組み換え原材料の分別状況について	弊社工場に持ち込まれる原材料はすべて非遺伝子組み換えのものだけに限定しております。商品名の「国産」と書かれている商品は100%国産菜種種子のみで製造。それ以外はオーストラリアから原材料を輸入しており、それぞれサイロを分けて保管しております。	当社は創業以来、遺伝子組み換え原料は使用していません。現在、国産なたね及び輸入なたね(西オーストラリア)を使用していますが、いずれも非遺伝子組み換え原料のみとなっています。
質問② 産地農場から製造工場までの管理・輸送方法	豪州産菜種:現地サイロよりコンテナに封入→船便→博多港→チャーター便→工場モーターリングを除き、弊社工場に入荷されるまでは基本的にコンテナ未開封で入荷 国産菜種:フレコン・紙袋に封入し、チャーター便で入荷	輸入品は産地ごとでの分別、輸送船舶(コンテナ)及びなたねの収納倉庫を含めてすべてIPハンドリングを行っています。従って、遺伝子組み換え原料の混入はありません。
質問③ 非遺伝子組み換えの原材料を使用している製品に関して、遺伝子組み換えのものに変更する予定について	変更予定はありません。	今後も遺伝子組み換え原料に変更する予定はありません。
その理由	オーストラリアの産地農家と毎年協議し、必要数量を契約した上で購入しております。	
質問④ 遺伝子組み換えでない原材料の入手にかかわる状況の変化について	弊社が今まで契約していた南オーストラリア州は、州として遺伝子組み換え作物を禁止しておりましたが、昨年ついに法改正が行われ、遺伝子組み換え作物が解禁されました。今後はそんな状況下において、いかに非遺伝子組み換え原料を確保していくかが大きな課題となっております。	特に変化はありません
質問⑤ 遺伝子組み換えでない原材料の製品を供給し続けるための課題について	④に同じ	今のところ大きな課題はありませんが、非遺伝子組み換えなたねの栽培が増えるよう期待しています。
質問⑥ ゲノム編集由来の原材料の使用について	使用しない	使用しない
その理由		しっかりとした安全性、科学的根拠が不明。
質問⑦ ゲノム編集原料使用の場合の表示について	表示します。	
その理由	原則、ゲノム編集由来のものを使用する予定はございません。	ゲノム編集品を使用することは考えていません。